

はじめに
目標とするシス
テム
今後について
おわりに

卒業研究のテーマと今後

長瀬 永遠

富山県立大学 情報基盤工学講座

May 21, 2021

システムの着想

新しく生み出されたサービスやシステムを評価し、改善に繋げていく方法の一つとして、アンケート調査が存在する。しかし、現在行われているアンケート調査では、アンケート結果のみを分析する場合がほとんどである。アンケートの結果に回答が得られた位置とその場所に含まれる情報（オープンデータ等）を自動的に結び付けることができれば、新たな発想が生み出せるのではないかと考えた。

ターゲット

- 研究機関での調査活動
- ビジネスにおけるマーケティング
- 自治体などのアンケート調査

GIS および GPS を用いたアンケート調査支援システム

アンケート結果（+位置情報）を取得



位置情報をもとにアンケート結果にオープンデータを紐づけ



GIS 上で結果を表示

はじめに
目標とするシス
テム
今後について
おわりに

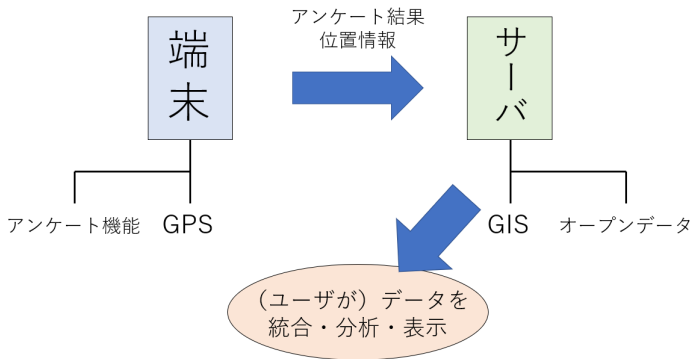


図 1: システムのイメージ図

はじめに

目標とするシステム

今後について

おわりに

- アンケート結果とオープンデータを一括で分析できる.
- アンケートの回答が多い地域が分かる,
- データを GIS で分析・表示できる.
- ペーパーレスにアンケート調査ができる.

はじめに

目標とするシステム

今後について

おわりに

デモ

問題点

- 1 アンケートの収集・分析という機能においては既存のサービスが強い.
- 2 位置情報を自動で収集する意味と有効性は？
- 3 オープンデータ自体は推薦に値するものなのか（フォーマット等を含め）

各問題について

- 1 オープンデータの推薦というところに主眼が置かれているので有効性はある（？）
- 2 GIS とのつながりも踏まえて上手に活かしたいけど今のところ微妙
- 3 国が作っている e-stat というサイトのデータ（平松さんも使ってたやつ）を使えば大丈夫そう.

平松さんの卒論の Web 化

実際に平松さんの卒論をさわる前に簡単な CGI を作成してみてサーバ上に置き、実行してみたところ、CGI の処理結果を表示するところでエラーが出た。



外部からサーバ上を参照する際には、html ディレクトリ上にファイルが存在しなければならないという結論に至る。



平松さんのコードを CGI 化し、出力結果を html ディレクトリに返すようにすれば上手くいくと思う。

はじめに

目標とするシステム

今後について

おわりに

今後の課題

- 1 有効性・新規性を考慮して、今後目指していくゴールを明確にする.
- 2 WebGIS における機能を新規追加していく.
- 3 同時進行で平松さんの卒論の Web 化もやってみる.